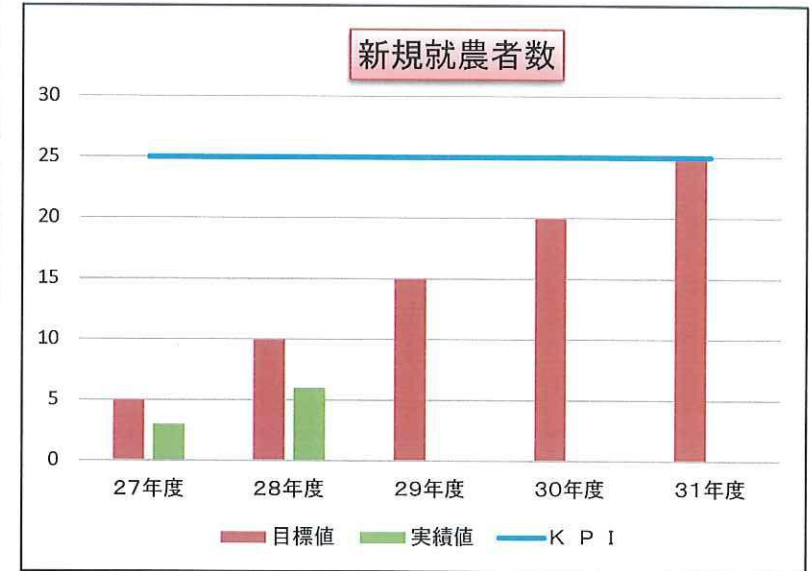


南城ちゃーGANJU CITY創生戦略 重要業績評価指標(KPI)検証シート

平成 28 年度分	担当部課名 農林水産部	産業振興課
-----------	---------------	-------

基本目標	《基本目標Ⅰ》地域資源を活用し自立可能な就労の場を創り出す
基本的方向	やりがいのある農水産業もうかる農水産業の実現《農水産業の成長産業化》
具体的施策	ア_農水産業の成長産業化

達成状況	①目標事項:	新規就農者数					
	KPI:	25人(5年間)					
		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	基準値
	KPI	25	25	25	25	25	0
	目標値	5	10	15	20	25	
	実績値	3	6				
	目標に対する達成率	60.0%	60.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
評価(内部評価)	△	△					
取組内容 (Plan)	消費者や市場に信頼される産地づくりをめざし、高品質・安定生産につながる、ハウスの導入、繁殖牛の改良増殖など、農業者の意欲ある取組を支援する。地域農業の新たな担い手の育成支援を行うとともに、担い手への農地集積や遊休農地の解消を進め、農地の有効活用を図る。						
実績 (Do)	<ul style="list-style-type: none"> ・青年就農給付金事業 3人(新規就農者数) ・農地中間管理事業 7ha(集積面積) ・耕作放棄地対策 1ha(解消面積) ・蔬菜花卉園芸施設整備事業 8件(整備施設) 		<ul style="list-style-type: none"> ・耐候性野菜栽培施設整備事業 10棟(施設棟数) ・耐候性野菜栽培施設整備事業 5,604㎡(施設面積) ・優良母牛導入の支援 50頭(優良繁殖牛) ・優良母牛導入の支援 50頭(優良乳用牛) ・農業振興アクションプラン 1(策定数) 				
分析 (Check)	事業自体は農家より高い評価を得ているものが多いが、施設の補強や導入牛に関しては一定の評価を得るまでに時間を要する事業もある。						
対応方向 (Action)	今年度に農業振興アクションプランが策定されたので、南城市の課題である担い手不足や経営耕地面積の拡大に向けて取り組んでいきたい。また、各事業の実績を伸ばして、農水産業の所得向上が図れるよう、関係機関との連携を強化していく。						



有識者会議による検証評価

意見	就農に躊躇する理由は把握できているのか。その対策が必要。過重な労働が障害であればITやロボット技術など急成長が期待できる分野へのモニタリングが必要と思う。農業を始めたいが土地が無い、貸してもらえない現状を改善する取組を強化して欲しい。
総合評価	○ 取り組み内容の継続

評価(内部評価)項目	
◎	目標値以上
○	基準値と同等
△	基準値未満
×	進捗なしor事業終了

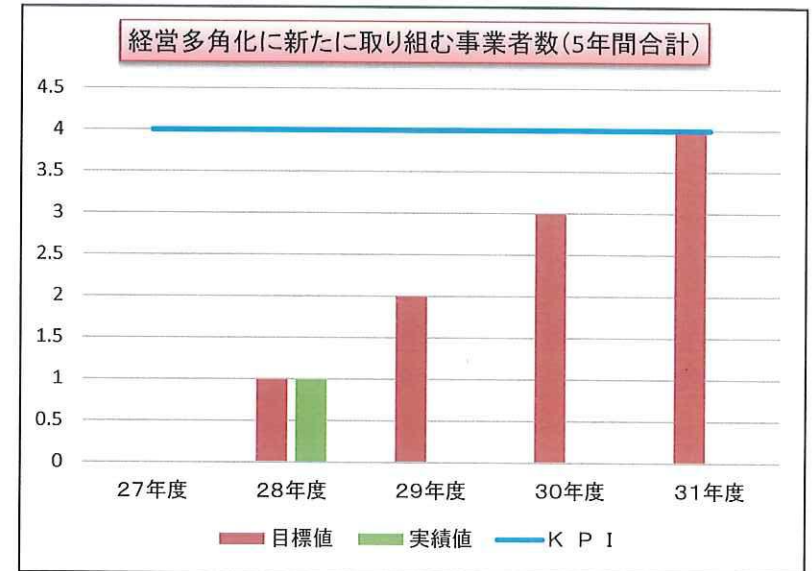
総合評価(有識者会議審査結果)項目	
◎	取り組み内容の深化・発展
○	取り組み内容の継続
△	取り組み内容の見直し
×	取り組みの中止・終了

南城ちゃーGANJU CITY創生戦略 重要業績評価指標(KPI) 検証シート

平成 28 年度分	担当部課名 農林水産部	産業振興課
-----------	-------------	-------

基本目標	《基本目標Ⅰ》地域資源を活用し自立可能な就労の場を創り出す
基本的方向	やりがいのある農水産業もうかる農水産業の実現《農水産業の成長産業化》
具体的施策	ア 農水産業の成長産業化

達成状況	①目標事項:	経営多角化に新たに取り組む事業者数					
	K P I :	4事業者(5年間)					
		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	基準値
	K P I	4	4	4	4	4	0
	目標値	0	1	2	3	4	
	実績値	0	1				
	目標に対する達成率	#DIV/0!	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
評価(内部評価)	○	○					
取組内容 (Plan)	基盤や施設整備及び活動の支援等により生産性の向上を図りながら地域資源を活用した付加価値を高める製品の開発などに意欲ある農水産業者への支援を行う。						
実績 (Do)	<ul style="list-style-type: none"> 漁村再生交付金事業 51.7%(事業計画達成率) つくり育てる漁業の振興業 44%(26年比所得向上) 水産物消費拡大および買い物弱者支援事業【先行型】 44%(26年比所得向上) 浜の活力再生プラン 44%(26年比所得向上) 農業法人の設立促進 6社(人・農地プラン掲載) 保存・貯蔵技術の高度化業 0基(製氷設備稼働) 六次産業化・地産池消法に基づく総合化事業計画の認定(1件) 植物工場や陸上養殖の取組支援 0箇所(生産組合等設立) 						
分析 (Check)	各種補助及び支援策の活用等により生産基盤の確保や生産性の向上につながっている。しかしながら経営多角化を目指している事業者はいるが、成果がまだ出ていない。						
対応方向 (Action)	広報誌やホームページに掲載、また農林水産業への説明会を開催するなど情報提供及び相談による支援を行う。また、沖縄総合事務局や沖縄県等に要請、協議を行いながら、国・県補助事業等の各種支援も充実させていく。						



有識者会議による検証評価

意見	他業種の多角化による農業参入も効果的だと考える。市内に多くの農業法人があればそこに就職し、就農個人経営よりもリスクは抑えられるので選択肢の幅も増えると思う。役所の部署間、例えば産業振興課と観光商工課が連携して販路拡大に結びつく取組をして欲しい。
総合評価	○ 取組み内容の継続

評価(内部評価)項目
◎ 目標値以上
○ 基準値と同等
△ 基準値未滿
× 進捗なしor事業終了

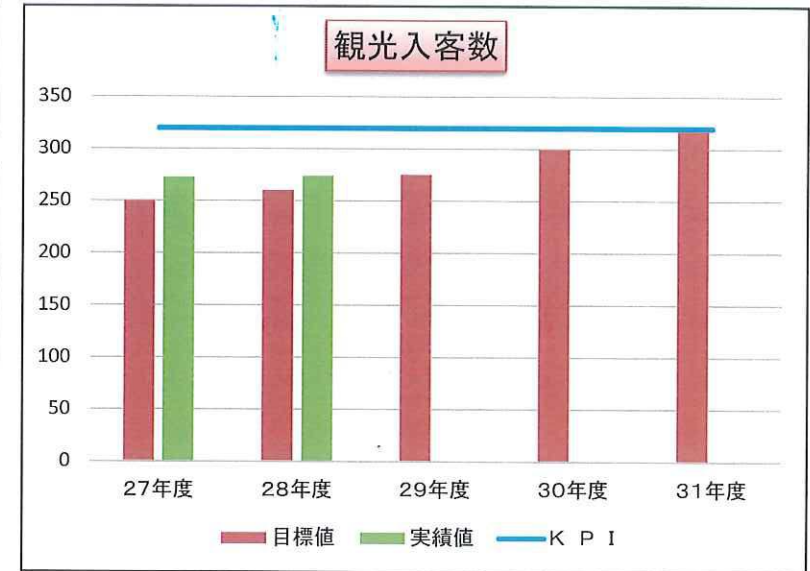
総合評価(有識者会議審査結果)項目
◎ 取組み内容の深化・発展
○ 取組み内容の継続
△ 取組み内容の見直し
× 取組みの中止・終了

南城ちゃーGANJU CITY創生戦略 重要業績評価指標(KPI)検証シート

平成 28 年度分	担当部課名	企画部	観光商工課
-----------	-------	-----	-------

基本目標	《基本目標Ⅰ》地域資源を活用し自立可能な就労の場を創り出す
基本的方向	地域資源活用で「非日常」「新鮮な感動」創出へ《観光振興・MICE対応》
具体的施策	Ⅰ観光振興・MICE対応

達成状況	①目標事項:	観光入込客数					
	K P I :	320万人(5年後)					
		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	基準値
	K P I	320	320	320	320	320	単位:万人 260
	目標値	250	260	275	300	320	
	実績値	273	274				
	目標に対する達成率	109.2%	105.4%	0.0%	0.0%	0.0%	
評価(内部評価)	◎	◎					
取組内容 (Plan)	ホテル等宿泊施設の誘致促進、インバウンド機能の拡充、宿泊体験メニューの多様化を図るとともに、MICEにも対応する本市の地域特性を活用した新たな観光の魅力を確立する。 また、ムラヤーや観光施設等の整備により本市ならではの観光体験メニューの構築を図るとともに、スポーツキャンプを促進する施設の整備により、スポーツツーリズムの活性化を図る。						
実績 (Do)	観光・防災交流拠点施設である知名ムラヤーや、公衆無線LANの整備等を、計画通りに進めることができている。 また、「南城ナイトツーリズム」などの体験滞在型観光メニューや、サッカーキャンプ等の「スポーツツーリズム」を推進、観光事業者など関係者との連携も進み、新たな南城市型観光メニューの創出につながった。						
分析 (Check)	観光拠点施設の整備が行われ、南城市型の観光振興に必要な関係事業者との連携も進行していることから、MICEやインバウンドにも対応する新たな観光施策の展開に向けた基礎ができつつある。						
対応方向 (Action)	持続可能な南城市型DMO(連携)の構築に向けた基礎固めのため、今後についても定期的に関係事業者との意見交換の場を設定し、検討を積み重ねていくこととする。						



有識者会議による検証評価

意見	ナイトツーリズムの課題は受入れの体制作りと考える。自治会や民家へのコーディネートが足りていないと感じる。もっと窓口体制、コーディネート体制の強化が必要。 観光客は斎場御嶽やおきなわワールドなど点ごとにはかなりの人数が入ってきているが波及効果が弱いと感じる。もっと別の業種にも足が伸びるような仕組みづくりが必要。 320万人でどれくらいの経済効果があるのか示してもらおうと評価しやすい。
総合評価	◎ 取組み内容の深化・発展

評価(内部評価)項目
◎ 目標値以上
○ 基準値と同等
△ 基準値未満
× 進捗なしor事業終了

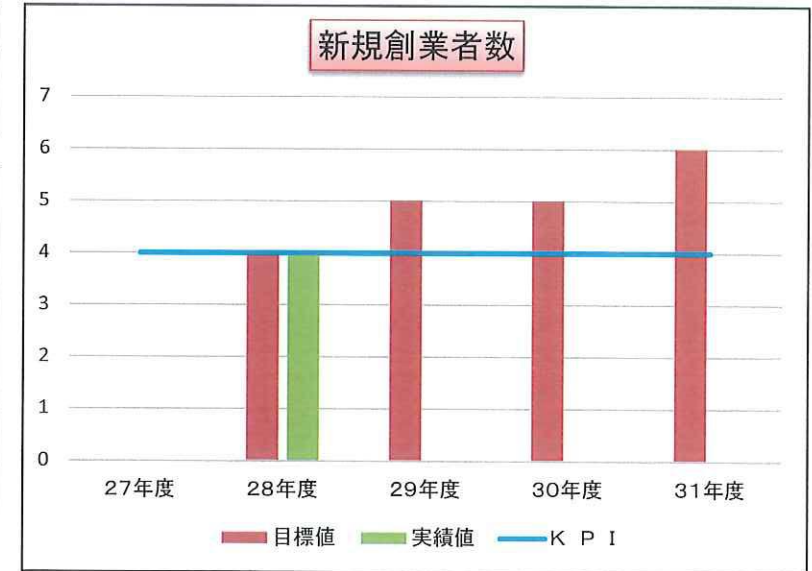
総合評価(有識者会議審査結果)項目
◎ 取組み内容の深化・発展
○ 取組み内容の継続
△ 取組み内容の見直し
× 取組みの中止・終了

南城ちゃーGANJU CITY創生戦略 重要業績評価指標(KPI)検証シート

平成 28 年度分	担当部課名	企画部	観光商工課
-----------	-------	-----	-------

基本目標	《基本目標Ⅰ》地域資源を活用し自立可能な就労の場を創り出す
基本的方向	空き庁舎から始まるストーリー《新たな雇用の場の創出》
具体的施策	① 新たな雇用の場の創出

達成状況	①目標事項:	新規創業者数					
	KPI:	20事業者(5カ年分の累計)					
		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	基準値
	KPI	4	4	4	4	4	4
	目標値	0	4	5	5	6	
	実績値	0	4				
	目標に対する達成率	#DIV/0!	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
評価(内部評価)	×	○					
取組内容 (Plan)	新規創業、雇用拡大に向け下記を中心とした各種の支援に取り組む。 1・公共施設の統廃合など施設の有効活用の検討 2・民間等の未利用地調査による企業誘致の促進 3・空き施設をリノベーションし、創業希望者等に対する活動場所の提供による創業支援 4・商工会との連携による市内事業所に対する融資等の検討 5・短時間労働や資格取得のための講習機会の拡大・促進						
実績 (Do)	平成27年度末の国補正予算「地方創生加速化交付金」を活用したリノベーションによる空き公共施設を活用した南城市インキュベート事業を実施し、平成28年度の9月より稼動。今後は、空き施設となる予定の玉城庁舎、空き施設になっている佐敷知念給食センターの統廃合に伴う企業誘致の敵地調査を実施、データを踏まえ調査結果を基に企業立地の候補地紹介を行った。						
分析 (Check)	創業・起業支援策として、インキュベート事業を展開している。空き数に対し企業は入居している。今後、その企業が市内での創業につながるか、商工会との連携を含めての支援体制、独自の利子補給制度の活用にも努め定着を図る取り組みが必要である。						
対応方向 (Action)	すでに起業している事務所への支援策として利子補給制度を年度の途中から実施する。また、企業誘致については、窓口を一本化を実施し、都市計画制度の所管課と関連課との情報を共有、連携を密にして連絡調整会議を開催しスピーディーに対応できる体制を整えたい。また、インキュベート事業者に対して市内での事業展開のメリットを説明できるよう浸透を図る。						



有識者会議による検証評価

意見	インキュベート施設などは起業をしたい人にはありがたいので評価できる。大きな施設ではなく共同で使用でき一人でも起業ができる施設があれば大きな企業になる可能性のある創業者が生まれると思う。3年後には施設から出て行かないといけませんが、市内に事業者を構えてほしいならグレードアップした施設があってもいいと思う。力がついた事業者が現在より高い家賃を払ってでも環境の良い施設があると市内で規模拡大できると考える。空いている物件はあるが駐車場がないなど入居するには厳しいテナントもある。幹線沿いで新しく建物ができる際にテナントを設置できるような仕組みがあればいいと考える。
総合評価	◎ 取り組み内容の深化・発展

評価(内部評価)項目
◎ 目標値以上
○ 基準値と同等
△ 基準値未満
× 進捗なしor事業終了

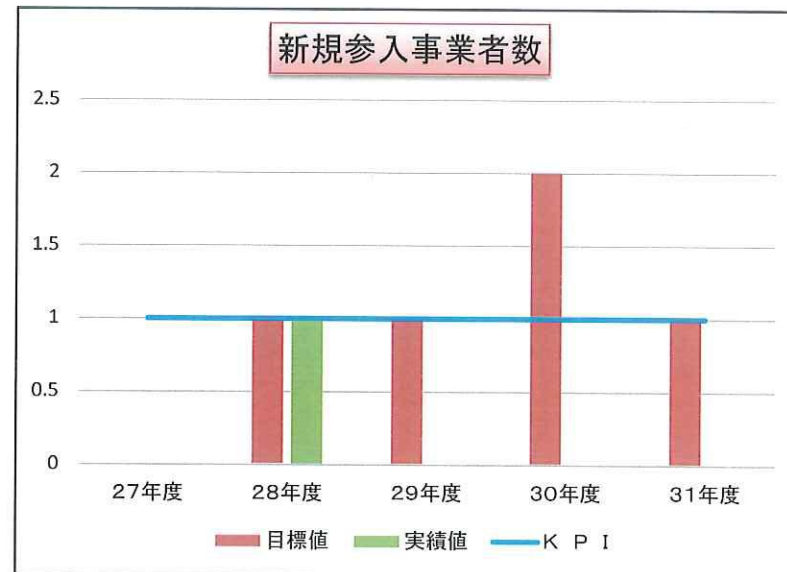
総合評価(有識者会議審査結果)項目
◎ 取り組み内容の深化・発展
○ 取り組み内容の継続
△ 取り組み内容の見直し
× 取り組みの中止・終了

南城ちゃーGANJU CITY創生戦略 重要業績評価指標(KPI)検証シート

平成 28 年度分	担当部課名	企画部	観光商工課
-----------	-------	-----	-------

基本目標	《基本目標Ⅰ》地域資源を活用し自立可能な就労の場を創り出す
基本的方向	空き庁舎から始まるストーリー《新たな雇用の場の創出》
具体的施策	ウ 新たな雇用の場の創出

達成状況	①目標事項:	新規参入事業者数					
	KPI:	5事業者(5カ年分の累計)					
		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	基準値
	KPI	1	1	1	1	1	1
	目標値	0	1	1	2	1	
	実績値	0	1				
	目標に対する達成率	#DIV/0!	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
評価(内部評価)	×	○					
取組内容 (Plan)	新たな雇用の場を創出するため未利用公共施設や市内遊休地等への企業誘致。大里庁舎については、ほぼ企業の選定につながった。今後は新規参入事業所と雇用サポートの連携強化による雇用者の確保に向けた連携も始まっている。また、玉城庁舎への新規参入事業所を増やすため民間銀行、事業所まわり等をおこなった。						
実績 (Do)	企業誘致をスムーズに行うため、本市の上位計画及び関連計画の整理を行い、また、開発除外・規制地区等を整理した開発・誘致可能候補地の選定を行った。						
分析 (Check)	前年度の分析を含めGISの更新(開発土地の確認等)企業誘致が円滑に進むよう、業務の効率化を進めた。大里庁舎の利用者も含め協議内容もほぼ整いつつある。空き公共施設等については、施設の立地等に諸条件が異なるため、それぞれの施設に沿った公募等をおこなう必要がある。						
対応方向 (Action)	公開可能な情報は、速やかに公開するとともに事業者からの相談に迅速に対応するため、都市計画担当部署と情報共有や連携をおこなう。今後検討している空き庁舎(給食センター等)の公募に際し、早いうちからの仕様書の作成・準備等を行う。						



有識者会議による検証評価

意見	現状では本土系の企業などがあちらこちらと点在しており、それらを集約して大きな物件にまとめた企業は多い。これから空き公共施設が出た場合にそのような企業を誘致したら良いと考える。空き庁舎の民間企業への賃借は評価できる。ぜひ賃借料を市民福祉の向上に繋げてほしい。
総合評価	○ 取り組み内容の継続

評価(内部評価)項目
◎ 目標値以上
○ 基準値と同等
△ 基準値未満
× 進捗なしor事業終了

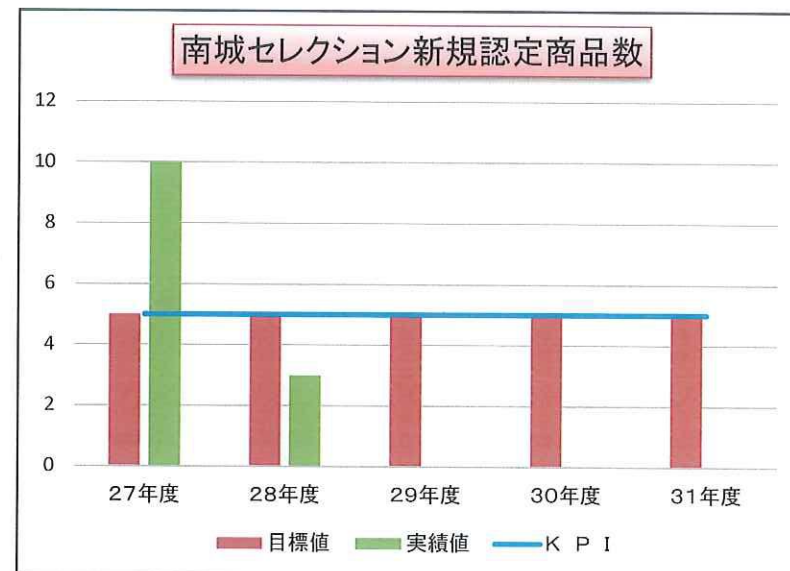
総合評価(有識者会議審査結果)項目
◎ 取り組み内容の深化・発展
○ 取り組み内容の継続
△ 取り組み内容の見直し
× 取り組みの中止・終了

南城ちゃーGANJU CITY創生戦略 重要業績評価指標(KPI)検証シート

平成 28 年度分	担当部課名	企画部	観光商工課
-----------	-------	-----	-------

基本目標	《基本目標 I》地域資源を活用し自立可能な就労の場を創り出す
基本的方向	TPP等を踏まえた国内外展開と新産業創出への挑戦《国内外展開・新産業の育成》
具体的施策	I.国内外展開・新産業の育成

達成状況	①目標事項:	南城セレクション新規認定商品数					
	KPI:	25件(5カ年分の累計)					
		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	基準値
	KPI	5	5	5	5	5	5
	目標値	5	5	5	5	5	
	実績値	10	3				
	目標に対する達成率	200.0%	60.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
評価(内部評価)	◎	△					
取組内容 (Plan)	「南城セレクション認定」商品を中心とした市産商品について、積極的に国内外への情報発信・PR活動を行い、販路の更なる拡大を図る。また、国の地方創生加速化交付金を活用し、水溶性天然ガス資源の総合的な利活用について、特に地域産業振興に資する有効性と即効性の高い事業に的を絞った事業計画を立案し、事業着手に向けたスタートアップ的な取り組みを検討する。						
実績 (Do)	南城市産商品について、国内の物産展等でPR活動を実施し、南城セレクションについては平成26年度は11商品、平成27年度は10商品、H28年度は3商品を認定した。また、香港での販売実績を踏まえ、南城市産の売れ筋上位のデータを得た。また、水溶性天然ガス資源の総合利活用について事業も継続中である。雇用サポートセンターでは、求人事業者に对应している雇用サポートセンター臨時職員の勤務時間は、9時から17時15分までに変更した。また、事業所訪問を実施し離職率の改善する手立てなどを確認しながら事業所のヒアリングも始めた。						
分析 (Check)	本市では、民間団体が自主的に行っているクラフトフェアが開催されるなど、雑貨等が盛んな地域である。しかし、沖縄南城セレクションにおいては、これまでの食の認定のみで非食品の認定がなかった。その非食品関係を広くPRするため雑貨等の認定も必要と考える。また、県が行っているアジア経済戦略にもあるように、本市においてアジアへの販路拡大について香港で得たデータ等を参考に販路拡大に努める。						
対応方向 (Action)	南城セレクションの認定対象は、認定品数は増えてきた。しかし、非食品部門の認定数が少ないので、その認定対象品数の増加と特産品開発のしくみづくり等の芽出しをおこない、市場性を視野にロット数の確保と販売額の増を検討する。引き続き雇用者側、求職者側の意見をゆっくりと時間をかけて対応できる環境へ改善しつつ、ミスマッチ解消に向け諸課題の解決に向け取り組んでいく。一方、水溶性天然ガス資源の総合的な利活用について、特に地域産業振興に資する有効性と即効性の高い事業に的を絞った展開の部分への活用を検討する。						



有識者会議による検証評価

意見	目標を商品認定数にしているが、認定事業者の売り上げ増や認定後の満足度も必要と考える。商工会の商品開発に係る支援事業の活用など連携をとることでよりよい商品作りができると思う。PRの場所についても検討が必要。沖縄大交易会などへ出店して海外への展開する方向性も可能だと考える。中学生など学生のセレクション商品開発など、学生教育と連携して行っても良いと考える。
総合評価	○ 取り組み内容の継続

評価(内部評価)項目
◎ 目標値以上
○ 基準値と同等
△ 基準値未満
× 進捗なしor事業終了

総合評価(有識者会議審査結果)項目
◎ 取り組み内容の深化・発展
○ 取り組み内容の継続
△ 取り組み内容の見直し
× 取り組みの中止・終了

南城ちゃーGANJU CITY創生戦略 重要業績評価指標(KPI)検証シート

平成 28 年度分 担当部課名 企画部 まちづくり推進課

基本目標	《基本目標Ⅱ》まちに活気を与える出会いと交流を促進するとともに南城市の魅力を広く発信する
基本的方向	「市民大学」「地域デザインセンター」を活用した人材育成《人材育成》
具体的施策	ア_人材育成

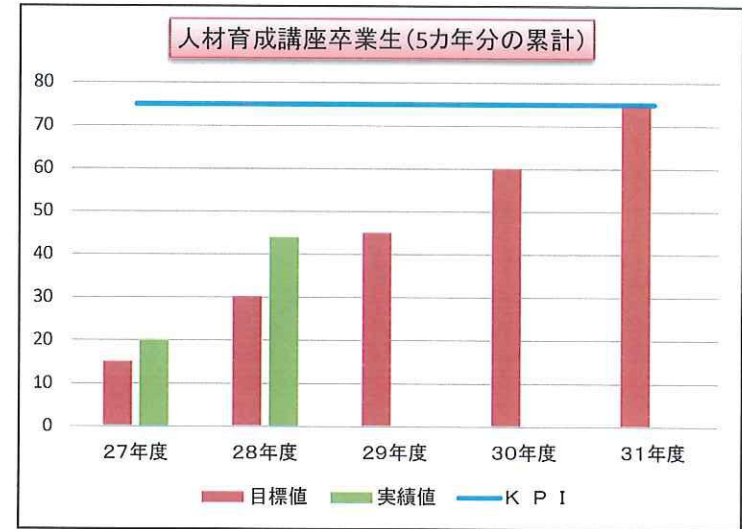
達成状況	①目標事項:	人材育成講座卒業生					
	KPI:	75人(5カ年分の累計)					
		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	基準値
	KPI	75	75	75	75	75	75
	目標値	15	30	45	60	75	
	実績値	20	44				
	目標に対する達成率	133.3%	146.7%	0.0%	0.0%	0.0%	
評価(内部評価)	◎	◎					

取組内容 (Plan) 住みたい、住み続けたい、まちづくりを目的に、市民自ら地域の課題を解決するための地域リーダーの養成を中心とした幅広い分野にわたる人材の育成を図り、育成した人材等が活動しやすい仕組みづくりを行うために下記①から⑤の取り組みを行う。
①地域リーダー育成、②コミュニティビジネス起業、③地域課題解決に向けた研究グループ設立、④市民活動への支援、⑤なんじょう地域デザインセンターの機能強化

実績 (Do) ①市民大学卒業生24人。
②ムラヤー活用戦略の策定と合わせて、コミュニティビジネスについて複数の自治会にヒアリング調査を実施。
③庁内関係課と地域課題研究グループ設立に関する情報交換会を実施。
④ガバメントクラウドファンディングサイトの開設可能性について情報収集。
⑤なんじょう地域デザインセンターと新庁舎内に設置予定の市民活動支援センター(仮称)に関する意見交換会を実施。

分析 (Check) ①目標値を9人上回った。
②収益事業に興味を示す自治会も有る、中心となる地域リーダーと自治会の理解と協力が必要。
③地域課題研究グループの目的、実施体制、運営方法更なる検討が必要。
④ガバメントクラウドファンディング開設については、先行自治体の状況確認など更なる情報収集・分析が必要。
⑤市民活動支援センター(仮称)の目的、役割、機能及び運営事業者の検討が必要。

対応方向 (Action) ①事業内容の充実強化を図り中途退学防止対策を引き続き講じていく。
②自治会長に対するコミュニティビジネスに関する学習会を開催する。
③なんじょう地域デザインセンターと行政(関係各課)による情報交換会を開催する。
④ガバメントクラウドファンディングに関する情報収集を図るとともに、基金等多様な手法も検討する。
⑤平成29年度は、市民活動支援センター(仮称)の運営計画策定するための委託業務の予算確保を図る。



有識者会議による検証評価

意見	地域に埋もれている人材を顕在化させていく仕組みなので継続してほしい。 市民大学のビジネスバージョンがあると良い。ガバメントクラウドファンディングは自前で開設するより既存の登録数の多いサイトへの参加を検討すべき。 かりゆし塾は地域創生の勉強会と人脈作り。市民大学についても同様な魅力的な講義内容にすると官民が参加する可能性がある。
総合評価	○ 取り組み内容の継続

評価(内部評価)項目
◎ 目標値以上
○ 基準値と同等
△ 基準値未満
× 進捗なしor事業終了

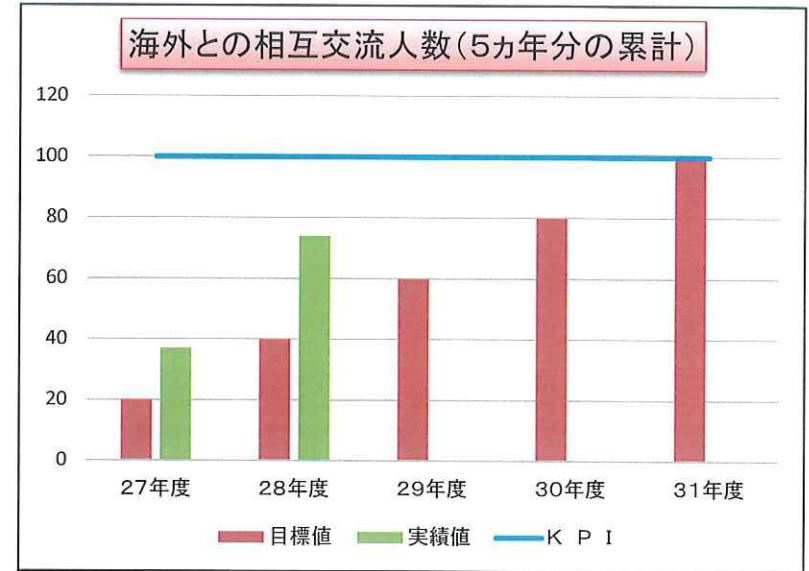
総合評価(有識者会議審査結果)項目
◎ 取り組み内容の深化・発展
○ 取り組み内容の継続
△ 取り組み内容の見直し
× 取り組みの中止・終了

南城ちゃーGANJU CITY創生戦略 重要業績評価指標(KPI)検証シート

平成 28 年度分	担当部課名	企画部	観光商工課
-----------	-------	-----	-------

基本目標	《基本目標Ⅱ》まちに活気を与える出会いと交流を促進するとともに南城市の魅力を広く発信する
基本的方向	「ハートのまち♥南城」ファンの育成《国内・国際交流の促進》
具体的施策	イ国内・国際交流の促進

達成状況	①目標事項:	海外との相互交流人数					
	K P I :	100人(5カ年分の累計)					
		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	基準値
	K P I	100	100	100	100	100	40
	目標値	20	40	60	80	100	
	実績値	37	74				
	目標に対する達成率	185.0%	185.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
評価(内部評価)	◎	◎					
取組内容 (Plan)	○自己表現力、国際社会への適応能力などの向上を目的に、市内中・高校生を米国へ派遣。 ○相互理解と友好親善、国際感覚豊かな人材育成を目的に、市内中学生を中国へ派遣。 ○香港理工大学インターンシップ受入れ時に、インバウンド等の課題を抽出、SNSなどの情報発信・意見交換等を行い、香港側が求める本市へのニーズを把握し、今後の交流におけるステップアップを図る。 ○市のイメージキャラクター「なんじい」や「南城セレクション認定品」によるPR活動、結婚記念証の交付などによる「ハートのまち南城市」のブランドイメージ化を図る。						
実績 (Do)	米国短期留学へ20人派遣、中国へ13人派遣、香港インターンシップ3人受入、南米子弟研修1名受入、南城セレクション認定3商品、結婚記念証の交付25組						
分析 (Check)	海外交流による異文化に対する興味や関心が高まったことにより、語学力やコミュニケーション能力への意欲の向上が感じられ、国際感覚豊かな人材の育成に繋がっているとみられる。 また、JICA草の根事業や交流がある海外都市等との連携による海外現地側の意見を踏まえた効果的な取組みとして、観光誘客におけるマスコットキャラクターやハートをモチーフとした、より効果的なPR活動、観光ブランディングを展開できており、将来が期待される南城市ファンの醸成及び将来的な観光誘客につながっている。						
対応方向 (Action)	分析結果から、現在の取組方策が効果的であると判断、当面は、今後も引き続き同じような取組み方を継続、推進していく。						



有識者会議による検証評価

意見	南城市民になれば海外で学べるという魅力をもっとPRし人口流入させる取組が必要である。 参加者を増やすようなホームページの作成、写真など工夫が必要である。 最終的な利益をどのように南城市に落とし込むかの戦略的な目的の整理や市民への説明・周知が必要である。
総合評価	◎ 取組み内容の深化・発展

評価(内部評価)項目
◎ 目標値以上
○ 基準値と同等
△ 基準値未満
× 進捗なしor事業終了

総合評価(有識者会議審査結果)項目
◎ 取組み内容の深化・発展
○ 取組み内容の継続
△ 取組み内容の見直し
× 取組みの中止・終了

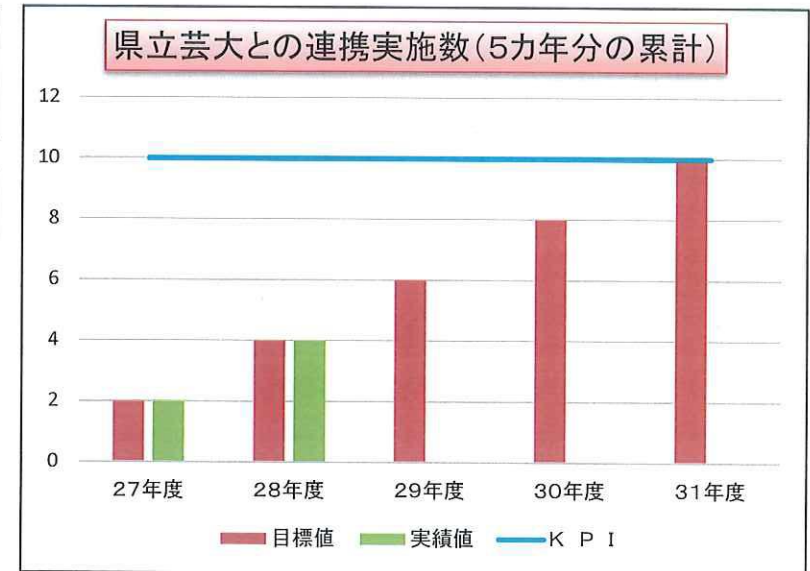
南城ちゃーGANJU CITY創生戦略 重要業績評価指標(KPI)検証シート

平成 28 年度分

担当部課名 企画部 観光商工課

基本目標	《基本目標Ⅱ》まちに活気を与える出会いと交流を促進するとともに南城市の魅力を広く発信する
基本的方向	「シュガーホール」「ムラヤー」を拠点とした教育・文化の展開《教育・文化》
具体的施策	ウ_教育・文化

達成状況	①目標事項:	県立芸大との連携実施数					
	K P I :	10件(5カ年分の累計)					
		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	基準値
	K P I	10	10	10	10	10	4
	目標値	2	4	6	8	10	
	実績値	2	4				
	目標に対する達成率	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
評価(内部評価)	○	○					
取組内容 (Plan)	シュガーホール及びムラヤーを拠点とした、若い世代が自らのふるさとに誇りを持ち得る地域文化の基礎づくりに取り組むため、次の事業を推進する。 ①芸術による地域活性化推進事業 ②市民開放コミュニティ空間の活用促進 ③文化遺産活用コンサート等、伝統文化の継承と地域コミュニティの活性化						
実績 (Do)	沖縄県立芸術大学との連携により、シュガーホールやムラヤーを活用した地域芸能等とのコラボによるイベントの開催や、文化遺産となるグスク・御嶽等を活用したコンサートなどを開催した。 ①南城市こらくりアーツ展覧会in安座真、オーケストラ定期演奏会 ②市民ワークショップの開催 ③文化遺産めぐりコンサート						
分析 (Check)	沖縄県立芸術大学との連携により、シュガーホールやムラヤーを活用した地域芸能等とのコラボイベントの開催や、文化遺産となるグスク・御嶽等を活用したコンサート等を開催、地域文化の基礎づくりに貢献した。 また、地域、大学、行政等がコラボし、地域の良さを見つめなおすことで、地域住民の意識に働きかけることにつながっており、ふるさとへの思いが醸成された。 具体的に、参加者の感想には「とても気軽にアートに触れることができた」「沖縄の伝統に触れる良いきっかけとなった」「地域と結ぶイベントがいろいろな形で広がっていくといいな」などの声が多数あり、芸術に触れることを通じ、地域と繋がっているということが肌で感じられ、改めて地域の良さを見つめなおすことにまで繋がっており、結果として、地域文化の基礎づくりに効果を発揮している取り組みとなっている。						
対応方向 (Action)	分析結果から、現在の取組方針が効果的であると判断、当面は、今後も引き続き同じような取り組み方を継続、推進していく。						



有識者会議による検証評価

意見	現在は補助事業であるが、とてもいい事業なのでコミュニティビジネスとして自走できる仕組みづくりが必要である。県立芸大との連携数ではなく、市民の文化・芸術への関心度(集客数など)が重要だと考える。シュガーホール集客計画を議論するような委員会等も必要である。
総合評価	○ 取り組み内容の継続

評価(内部評価)項目
◎ 目標値以上
○ 基準値と同等
△ 基準値未満
× 進捗なしor事業終了

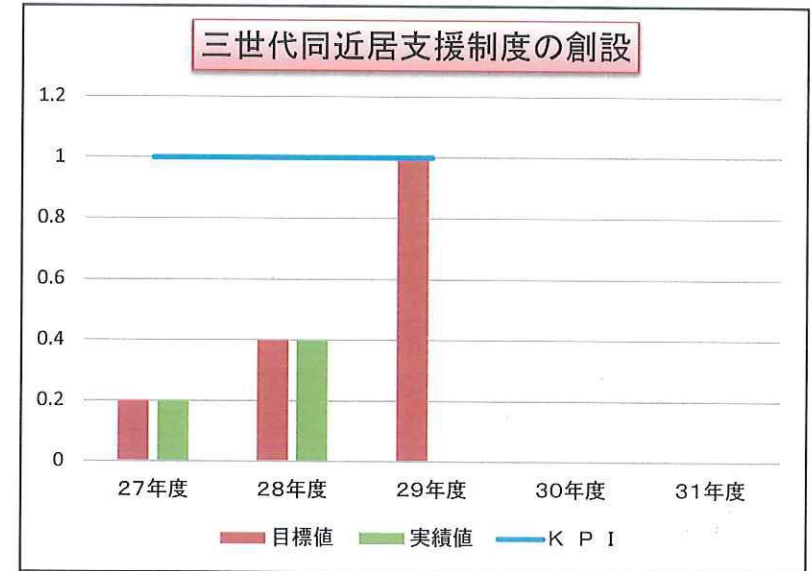
総合評価(有識者会議審査結果)項目
◎ 取り組み内容の深化・発展
○ 取り組み内容の継続
△ 取り組み内容の見直し
× 取り組みの中止・終了

南城ちゃーGANJU CITY創生戦略 重要業績評価指標(KPI)検証シート

平成 28 年度分	担当部課名	企画部	政策調整課
-----------	-------	-----	-------

基本目標	《基本目標Ⅲ》あらゆる世代が生き活きと暮らせるまちをコミュニティ全体で支えあう
基本的方向	三世代同近居やUターンがささえる未来《移住・定住の促進》
具体的施策	A_移住・定住の促進

達成状況	①目標事項:	三世代同近居支援					
	KPI:	制度創設(平成29年度までに)					
		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	基準値
	KPI	1	1	1			
	目標値	0.2	0.4	1			
	実績値	0.2	0.4				0:未制定 1:策定
	目標に対する達成率	100.0%	100.0%	0.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	
評価(内部評価)	○	○					
取組内容 (Plan)	移住・定住促進、人口の適正配置を即す取組として「三世代同近居支援制度」の創設に向け、関連する取組として市民意向の把握、空き家バンクの設立・分類・海野漁港背後地の宅地整備、県営嶺井団地の建替え、大里北小学校の跡地利用、コミュニティービジネスの創出に努める。						
実績 (Do)	<ul style="list-style-type: none"> ・関係各課による三世代同近居に伴うメリット、デメリットについて考察を行った。 ・「空き家」の利活用について検討を行った。 ・県公有財産管理運営委員会で審議され土地売り払いについて承認を得た。 ・大里北小学校の跡地利用について情報収集を行った。 ・昨年同様、安座真ムラヤーにおいて芸術による地域活性化を目的としたイベントを開催した。 						
分析 (Check)	<ul style="list-style-type: none"> ・各課との考察によりハード、ソフトの支援制度策案を10項目作成した。 ・地域居住機能再生計画を策定した。 ・空き家を利活用したコミュニティービジネスの事例などについてムラヤー利活用戦略に明記し市と自治会が目指す方向性を提示できた。 ・地元地区からイベント参加者を増やすために事業の浸透度を向上させる必要がある。 						
対応方向 (Action)	<ul style="list-style-type: none"> ・支援制度案の10項目について精査し予算措置について検討を行い29年度中に支援制度を作成する。 ・空き家リスト(バンク)の作成後の活用をイメージ及び、コミュニティービジネスとして事業展開できるスキームを検討する。 ・29年度中に関係課区かとの連携協議する体制を構築し大里北小学校の利活用についての方向性を提案する。 						



有識者会議による検証評価

意見	近年、同年代の人達がUターンしてきている印象があるのでこのような制度は評価できる。 沖縄県ではまだないが、自治体との連携で住宅金利が下がる制度があるので今後そういう連携も必要と考える。
総合評価	○ 取り組み内容の継続

評価(内部評価)項目
◎ 目標値以上
○ 基準値と同等
△ 基準値未満
× 進捗なしor事業終了

総合評価(有識者会議審査結果)項目
◎ 取り組み内容の深化・発展
○ 取り組み内容の継続
△ 取り組み内容の見直し
× 取り組みの中止・終了

南城ちゃーGANJU CITY創生戦略 重要業績評価指標(KPI)検証シート

平成 28 年度分	担当部課名	企画部	まちづくり推進課
-----------	-------	-----	----------

基本目標	《基本目標Ⅲ》あらゆる世代が活き活きと暮らせるまちをコミュニティ全体で支えあう
基本的方向	「安心安全な地域づくりを」の声にこたえて《コミュニティ基盤の強化》
具体的施策	イ_コミュニティ基盤の強化

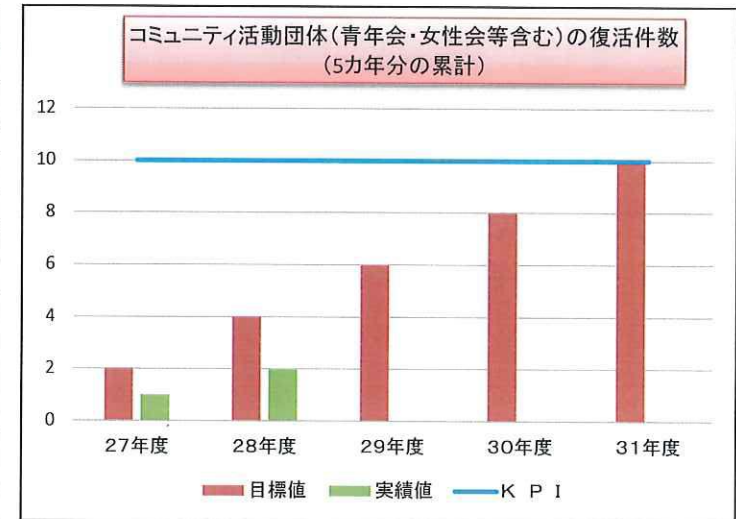
達成状況	①目標事項:	コミュニティ活動団体(青年会・女性会等含む)の復活件数					
	K P I :	10件(5カ年分の累計)					
		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	基準値
	K P I	10	10	10	10	10	2
	目標値	2	4	6	8	10	
	実績値	1	2				
	目標に対する達成率	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
評価(内部評価)	△	△					

取組内容 (Plan)
 安心して子どもを産み育てることができる地域社会の醸成を目的に、ムラヤーの機能再生を通じた買物、医療・保健、福祉等の生活利便性、良好な生活環境を高める施策を関連づける取り組みや、自治会加入のメリットに対する住民理解を深める取り組みを通じた自治会加入促進を図り、コミュニティ活動の充実・強化の基盤を固めるために以下①から⑧の取り組みを行う。①ムラヤー構想推進事業、②公民館等充実強化(ムラヤー建設補助)、③活動団体支援(集落(ムラヤー)支援員配置)、④世代間・地域間の交流促進、⑤自治会活動への支援、⑥自治会役員への支援、⑦自治会加入の促進、⑧低炭素なまちづくり推進事業。

実績 (Do)
 ①ムラヤー利活用戦略を策定した。
 ②親慶原区、当間区、南風原区の公民館改築に対し補助を行った。
 ③ムラヤー支援事業の内容について関係団体と検討会議を開催、確認作業を行った。
 ④トライアルで「上がり太陽プラン事業」に区・自治会向けの部門を設定し事業の公募を行った。
 ⑤ふるさと納税と自治会活動に関するクラウドファンディングの連携について情報交換を行った。
 ⑥区長・自治会長を対象とした「ムラヤー学習会」を6回開催した。
 ⑦自治会加入促進チラシの配布及び、横断幕を作成し提供した。また、ムラヤー学習会の中で加入促進をテーマとしたワークショップを開催した。
 ⑧自治会管理の防犯灯及び、市が管理する観光施設のCO2排出量調査を実施した。

分析 (Check)
 ①地域コミュニティ(＝ムラヤー)の活性化に向けた取り組み方針を全区・自治会と共有することができた。
 ②親慶原区、当間区、南風原区の区民が利用しやすくなった。また、施設の長寿命化が図られた。
 ③なんじょう地域デザインセンターとムラヤー支援のための事業内容を具体的に検討することができた。
 ④自治会部門の設定により、一時減り続けていた区・自治会の提案事業数が増加に転じた。
 ⑤ふるさと納税担当課から、ふるさと納税制度やサイトとの連携について可能との情報が得られた。
 ⑥区長・自治会長の意識が高まり、区長・自治会長退任後も引き続き地域活動に参加する方も出てきた。
 ⑦横断幕掲出により数件の問い合わせがあった。また、ワークショップにおいて各区・自治会の取り組み等の事例について情報を共有することができた。
 ⑧自治会管理の防犯灯及び、市管理の観光施設のCO2排出量の把握ができた。

対応方向 (Action)
 ①各区・自治会が目指していきたいことを取りまとめるための補助等を行う。
 ②ムラヤー建設補助助成金では対象外で、区・自治会が求めるものに対する補助について意見交換を行う。
 ③なんじょう地域デザインセンターとムラヤー活性化事業に向けた事業計画を策定する。
 ④各区・自治会が「上がり太陽プラン事業」を活用しやすくなるための方策として「ムラヤー部門」の設定を行う。
 ⑤ふるさと納税制度サイトを運営する財政課やサイト運営事業者と事業展開についての具体的な調整を行う。
 ⑥区・自治会等の役員を対象に自治会活性化のための学習会を開催する。
 ⑦横断幕及びチラシ配布を引き続き実施する。加入促進をテーマとした学習会を継続して実施できるよう関係課と調整する。
 ⑧街灯・避難、観光施設をLED化するための事業を検討する。



有識者会議による検証評価

意見	ライフスタイルの多様化(共働きなど)、青年会や女性会の存在価値を改めて整理する必要がある。価値創出が必要。自治会役員の負担感などの実態調査も必要。
総合評価	○ 取り組み内容の継続

評価(内部評価)項目
◎ 目標値以上
○ 基準値と同等
△ 基準値未満
× 進捗なしor事業終了

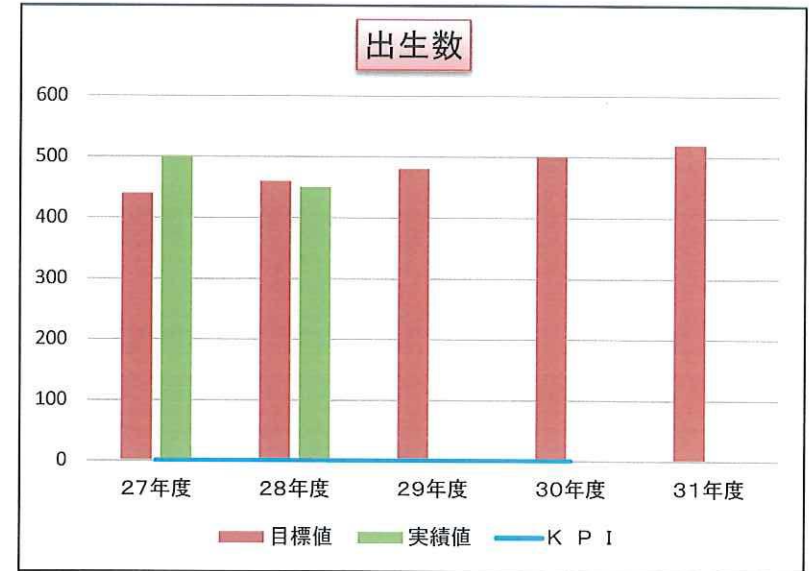
総合評価(有識者会議審査結果)項目
◎ 取り組み内容の深化・発展
○ 取り組み内容の継続
△ 取り組み内容の見直し
× 取り組みの中止・終了

南城ちゃーGANJU CITY創生戦略 重要業績評価指標(KPI)検証シート

平成 28 年度分	担当部課名	福祉部	児童家庭課
-----------	-------	-----	-------

基本目標	《基本目標Ⅲ》あらゆる世代が生き活きと暮らせるまちをコミュニティ全体で支えあう
基本的方向	「神々が見守る大地でロマンあふれる子育てを」《子育て支援》
具体的施策	ウ_子育て支援

達成状況	①目標事項:	出生数					
	K P I :	520人(5年後)					
		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	基準値
	K P I	0	0	0	0		
	目標値	440	460	480	500	520	
	実績値	500	450				
	目標に対する達成率	113.6%	97.8%	0.0%	0.0%	0.0%	
評価(内部評価)	◎	△					
取組内容 (Plan)	①待機児童に向けた認可外施設の法人保育園への移行と併せ「保育所等整備交付金」を活用し定員増の拡充を図る。公立保育所の残り1保育所を民営化に向けて推進する。 ②「放課後児童クラブ公的施設促進事業」を促進し、南城市内の小学校内に学童クラブを建設、同クラブの質の向上と保育料の引き下げを図る。 ③地域居住機能再生促進事業による県住宅公社嶺井団地内生活支援施設(子育て支援施設)等を整備する。 ④「児童虐待防止対策強化」「ひとり親家庭支援強化」に取り組む。 ⑤沖縄子どもの貧困緊急対策事業の実施。						
実績 (Do)	①認可外保育園6園の内5園を認可化へ移行することが出来た。公立みどり保育所の民営化の移管先が決定した。 ②玉城小学校、船越小学校への放課後児童クラブ公的施設促進事業の経営委託先が決定。 ③生活支援施設(子育て支援施設)についての協議開催されなかった。 ④児童虐待防止推進月間の取り組みを周知することが出来た。児童扶養手当現況時にハローワーク臨時窓口を開設し求職者への情報提供を行った。 ⑤佐敷地区ほっとハウス「ひまわり」を開所。						
分析 (Check)	①「子ども子育て支援事業計画」の推計人口の推移と住基人口の移動報告を比較すると、推計人口に比べて大里地域における人口増加が著しいため、施設整備の計画上保育重要に対し供給が追いつかない状態になっている。 ②両施設に入所出来ない児童がみられた。 ③嶺井団地立替による事業説明事業主体である住宅供給公社からの事業説明がされなかった。 ④ひとり親家庭の就労においては高等職業訓練促進給付金事業を活用し、看護婦等の国家資格を習得し対象者家庭の自立に繋げることが出来た。 ⑤時限的な補助事業であり10割補助であるが、継続推進するためには新たな財源の確保が必要である。						
対応方向 (Action)	①待機児童解消(ゼロ)に向けた施設整備事業の拡充を図る。 ②市内全学校へ放課後児童クラブを建設し、保育料等の負担軽減や安全確保、地域との連携強化を図る。 ③大里北区域の保育ニーズを調査した上で、住宅供給公社と連携を取りながら子育て支援施設の建築を検討する必要がある。 ④今後も取り組み事業を周知する。 ⑤他の地区の貧困世帯の状況も踏まえながら、新たに居場所を展開する必要がある。						



有識者会議による検証評価

意見	子育て環境の良い市町村と南城市の違いを把握したほうが良いと考える。 待機児童解消に向けた保育園の整備や学校内への学童クラブ創設は評価できる。 出生数が増えることに狙いを定めた政策に期待します。
総合評価	○ 取り組み内容の継続

評価(内部評価)項目
◎ 目標値以上
○ 基準値と同等
△ 基準値未満
× 進捗なしor事業終了

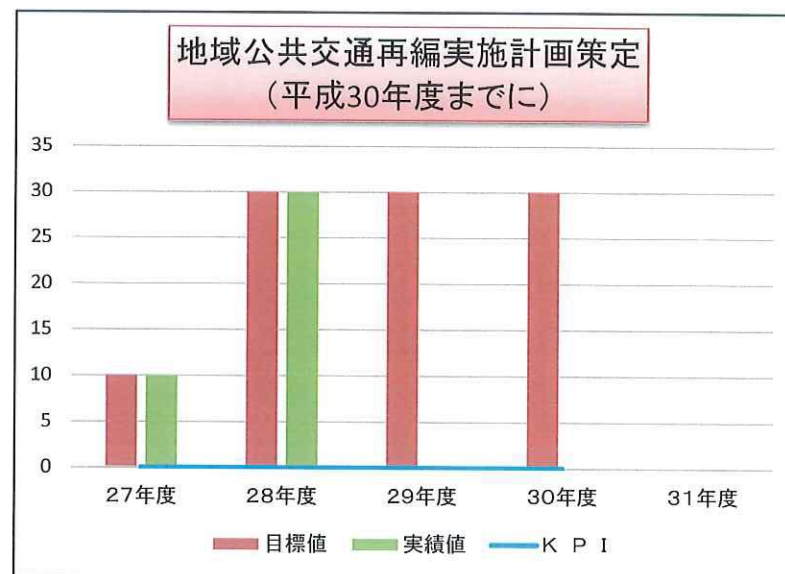
総合評価(有識者会議審査結果)項目
◎ 取り組み内容の深化・発展
○ 取り組み内容の継続
△ 取り組み内容の見直し
× 取り組みの中止・終了

南城ちゃーGANJU CITY創生戦略 重要業績評価指標(KPI)検証シート

平成 28 年度分	担当部課名	企画部	企画室
-----------	-------	-----	-----

基本目標	《基本目標Ⅳ》安全安心で快適な暮らしが生まれ出す地域の「誇り」を市民全員が分かちあう
基本的方向	大規模公共駐車場によって生まれ変わる公共交通体系《公共交通体系》
具体的施策	A_公共交通体系

達成状況	①目標事項:	地域公共交通再編実施計画					
	KPI:	策定(平成30年度までに)					
		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	基準値
	KPI	0	0	0	0		
	目標値	10	30	30	30		
	実績値	10	30				
	目標に対する達成率	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	#DIV/0!	
評価(内部評価)	○	○					
取組内容 (Plan)	・南部東道路の全線開通を見据え、バス路線の再編や乗降・乗継に係る交通広場の整備、デマンド交通との連携等を含めた公共交通ネットワークの再構築に向けた地域公共交通再編実施計画を策定する。						
実績 (Do)	・年4回の地域公共交通会議の実施 ・南城市地域公共交通網形成計画の策定 ・おでかけなんじいの本格運行開始 ・沖縄県への仲間(仲程)交差点、稲嶺交差点改良工事継続要請 ・南城市道路網整備計画の改訂 ・南部東道路に関連する住民総決起大会の開催 ・南部東道路の早期完成及び、主要交差点の混雑解消に向けた国、県への要請						
分析 (Check)	・H28年度より本格運行した「おでかけなんじい」の一日平均の乗車人数は、有償運行がスタートしたH26年12月の53名から、平成29年2月には31名増の84名となり、満車等により予約をお断りするケースも出てきている。「おでかけなんじい」は、市内限定の運行であったり、台数が限られているため、今後は路線バス等の公共交通機関と連携した取り組みが必要である。						
対応方向 (Action)	・平成30年代前半に予定されている南部東道路の一部供用開始に伴い、南城市の人の流れが大きく変わると予想されており、先を見据えた「地域公共交通再編実施計画」を交通事業者と合意の上で策定する必要がある。具体的な内容としては、新庁舎や大型駐車場の整備が進められている中核地に、市内に点在しているバス会社3社の営業所等を集約したバスターミナルを整備し、そのバスターミナルを拠点に、市民及び観光客等の移動ニーズにあったバス路線の再編を行う。						



有識者会議による検証評価	
意見	市内バス路線を総括的に再編する取組は評価できる。
総合評価	◎ 取り組み内容の深化・発展

評価(内部評価)項目
◎ 目標値以上
○ 基準値と同等
△ 基準値未満
× 進捗なしor事業終了

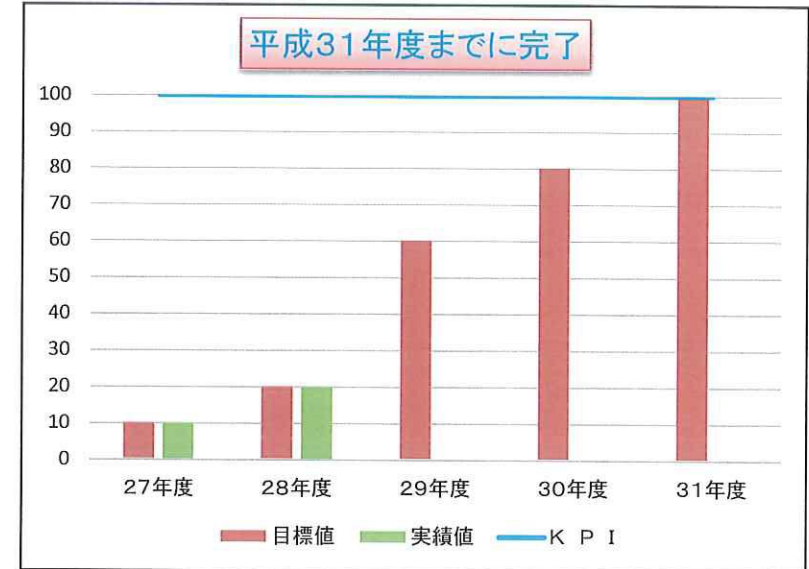
総合評価(有識者会議審査結果)項目
◎ 取り組み内容の深化・発展
○ 取り組み内容の継続
△ 取り組み内容の見直し
× 取り組みの中止・終了

南城ちゃーGANJU CITY創生戦略 重要業績評価指標(KPI)検証シート

平成 28 年度分	担当部課名	土木建築部	施設整備課
-----------	-------	-------	-------

基本目標	《基本目標Ⅳ》安全安心で快適な暮らしが生まれる地域の「誇り」を市民全員が分かちあう
基本的方向	「海と緑と光あふれる南城市」の実現に向けて《成長基盤の整備》
具体的施策	イ_成長基盤の整備

達成状況	①目標事項:	先導的都市拠点の「中核地(シビック・交流ゾーン)の整備					
	KPI:	完了(5年後)					
		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	基準値
	KPI	100	100	100	100	100	達成状況 (%)
	目標値	10	20	60	80	100	
	実績値	10	20				
	目標に対する達成率	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
評価(内部評価)	○	○					
取組内容 (Plan)	南城市庁舎等複合施設整備事業については、実施設計を完了し、敷地造成工事及び建築・電気・機械設備7工区を発注し、工事を着手しております。 観光振興将来拠点地整備事業については、実施設計を完了し、敷地造成工事を発注しております。 観光コア施設については、基本構想策を策定し、引き続き基本計画業務を発注する予定となっております。 下水道整備事業については、県道137号線(新里ビラ)の整備を終え、引き続き市道夜明ヶ丘線を整備する予定となっております。						
実績 (Do)	南城市庁舎等複合施設整備実施設計業務完了 南城市庁舎等複合施設敷地造成工事を発注し、造成完了 南城市庁舎等複合施設整備事業(建築3工区、電気2工区、機械設備2工区)工事発注 南城市観光振興将来拠点地整備事業実施設計業務完了 南城市観光振興将来拠点地整備事業造成工事等発注						
分析 (Check)	南城市庁舎等複合施設整備事業及び南城市観光振興将来拠点地整備事業(公共駐車場)については、庁舎は、平成30年、公共駐車場は、平成31年の完成を目指し、計画通りに進捗しております。 下水道整備計画については、中核地の整備事業が、平成28年度から実施され、県道137号線(新里ビラ)の整備を終え、平成29年には、市道夜明ヶ丘線への引き込みを予定しております。又、大里未整備地区について平成28年度に沖縄汚水再生ちゅら水プランに位置づけられ、平成29年度に全体計画、平成30年度に都市計画決定、事業認可を行い、平成31年度から実施設計を行う予定となっております。						
対応方向 (Action)	南城市庁舎等複合施設整備事業及び南城市観光振興将来拠点地整備事業(公共駐車場)については、引続き工事を進めていきます。 また、下水道等についても、大里未整備地区、先導的都市拠点地区について、中城湾南部流域下水道への編入を検討し、農漁業集落排水等処理施設(14地区)についても、処理施設の統廃合や機能強化を併せて検討していきます。また、新庁舎を中心とした市内の情報通信網の再編及び拡充についても、平成28年度から検討を行い、庁舎移転時期に併せた整備を進めていきます。						



有識者会議による検証評価

意見	新しい中心地を作る試みは評価できるが、市民からの意見集約・住民説明会も必要と考える。
総合評価	○ 取組み内容の継続

評価(内部評価)項目
◎ 目標値以上
○ 基準値と同等
△ 基準値未満
× 進捗なしor事業終了

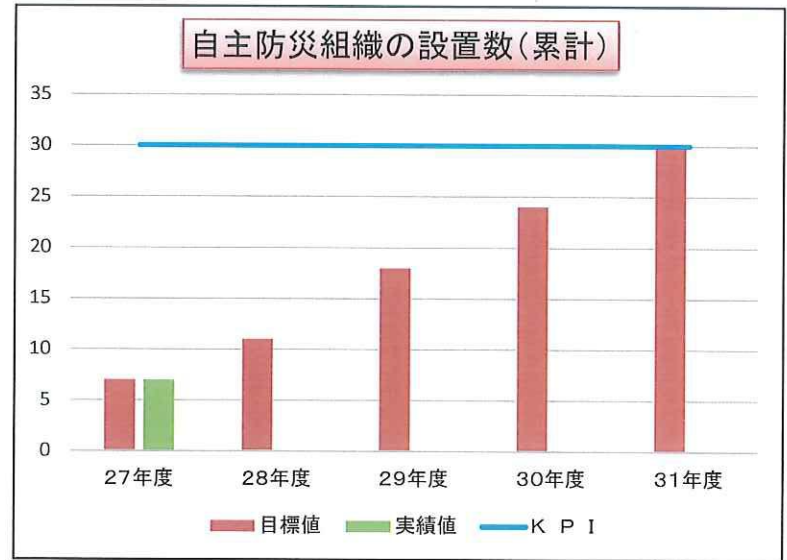
総合評価(有識者会議審査結果)項目
◎ 取組み内容の深化・発展
○ 取組み内容の継続
△ 取組み内容の見直し
× 取組みの中止・終了

南城ちゃーGANJU CITY創生戦略 重要業績評価指標(KPI)検証シート

平成 28 年度分	担当部課名	総務部	総務課
-----------	-------	-----	-----

基本目標	《基本目標Ⅳ》安全安心で快適なくらしが生まれ出す地域の「誇り」を市民全員が分かちあう
基本的方向	災害に強いまちづくり《防災対策》
具体的施策	ウ.防災対策

達成状況	①目標事項:	自主防災組織の設置数					
	KPI:	30か所(5年後)					
		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	基準値
	KPI	30	30	30	30	30	7
	目標値	7	11	18	24	30	
	実績値	7	0				
	目標に対する達成率	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
評価(内部評価)	○	○					
取組内容 (Plan)	大規模な災害が発生したときに、被害の拡大を防ぐためには、国や都道府県、市町村の対応(公助)だけでは限界があり、早期に実効性のある対策をとるためには、自分の身を自分で守る(自助)とともに、普段から顔を合わせている地域や近隣の人々が集まって、互いに協力し合いながら、防災活動に組織的に取り組む(共助)が重要であり、そのためには自主防災組織が必要となる。70自治会あるなかで未設置自治会が多く自主防災組織の設立が急務であることから組織設置に向けた啓発活動に取り組む。						
実績 (Do)	自主防災組織の設置団体は27年度末現在で7団体設置している。内訳として佐敷3地区(富祖崎、仲伊保、新開)、大里1地区(島袋)、玉城2地区(前川、奥武、愛知)の7自治会となっている。 H28年度は新たな設立組織はありませんが、2自治会に地区入りして区の役員と意見交換会を行い、2自治会ともH29年度立ち上げに向けて取り組む意向を示していただいた。 ①久原区意見交換会 H28.12.14 午後8時～ ②つきしろ区意見交換会 H28.12.25 午後2時～ 【意見交換の内容】 区内で想定される災害、各種警戒区域の有無、現在の状況確認、自主防災組織の役割・必要性等						
分析 (Check)	地区入りで行う意見交換会は、区内の現状の把握や、警戒が必要な災害等についても地域の細部まで踏み込むことができ市と区、両者間の情報共有にも繋がった。						
対応方向 (Action)	地区入りの意見交換会を実施し、区の現状や、警戒が必要な災害等を細かく確認、情報共有しながら組織化に向けた支援を行いたい。また外部から講師を招いての講演会も検討し、自主防災組織の普及促進に繋げていく。						



有識者会議による検証評価

意見	広報を含め周知、PRが不足していると感じる。必要な取組であるので引き続き進めていく必要がある。
総合評価	○ 取り組み内容の継続

評価(内部評価)項目	
◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未滿
×	進捗なしor事業終了

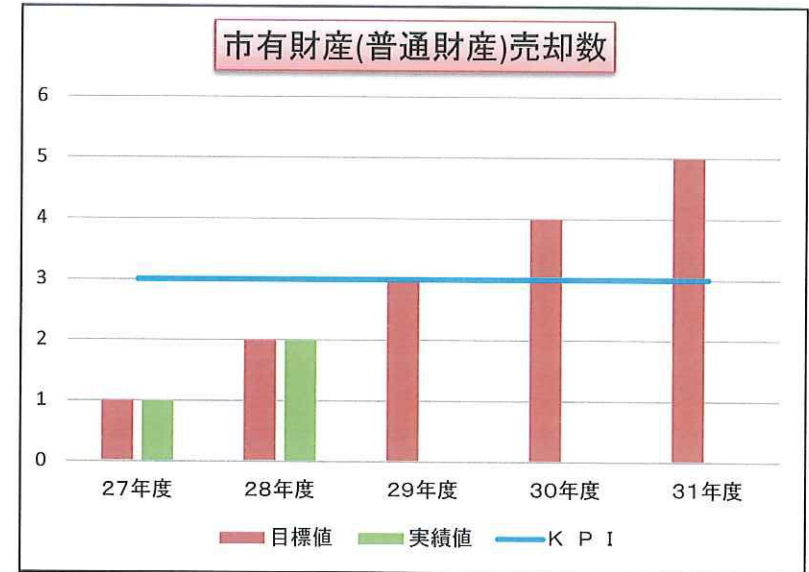
総合評価(有識者会議審査結果)項目	
◎	取り組み内容の深化・発展
○	取り組み内容の継続
△	取り組み内容の見直し
×	取り組みの中止・終了

南城ちゃーGANJU CITY創生戦略 重要業績評価指標(KPI)検証シート

平成 28 年度分	担当部課名	総務部	財政課
-----------	-------	-----	-----

基本目標	《基本目標Ⅳ》安全安心で快適な暮らしが生み出す地域の「誇り」を市民全員が分かちあう
基本的方向	前例踏襲や既成概念を取り払う「聖域なき見直し」へ《財政基盤の強化》
具体的施策	Ⅰ_財政基盤の強化

達成状況	①目標事項:	5年以内で市有財産_土地_売却					
	K P I :	3件以上の売却					
		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	基準値
	K P I	3	3	3	3	3	3
	目標値	1	2	3	4	5	
	実績値	1	2				
	目標に対する達成率	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
評価(内部評価)	○	○					
取組内容 (Plan)	老朽化施設や類似施設の統廃合から生じる遊休地や未利用施設の財産を処分による財源確保を図						
実績 (Do)	平成28年度、普通財産1件を売却することができた。つきしろみなみ保育園。						
分析 (Check)	2年連続で普通財産(土地)を売却することができた。今後は類似施設の統廃合から生じる遊休地や未利用施設が増加すると見込まれる。						
対応方向 (Action)	対象となる施設毎に検討を行い、より効果的な普通財産の処分が行えるよう内部検討委員会等を設置する。						



有識者会議による検証評価	
意見	早急に進めていく必要がある。いろんな手続き面もあるので引き続き取り組んでいく必要がある。財産基盤の強化がもっと必要。
総合評価	◎ 取り組み内容の深化・発展

評価(内部評価)項目
◎ 目標値以上
○ 基準値と同等
△ 基準値未滿
× 進捗なしor事業終了

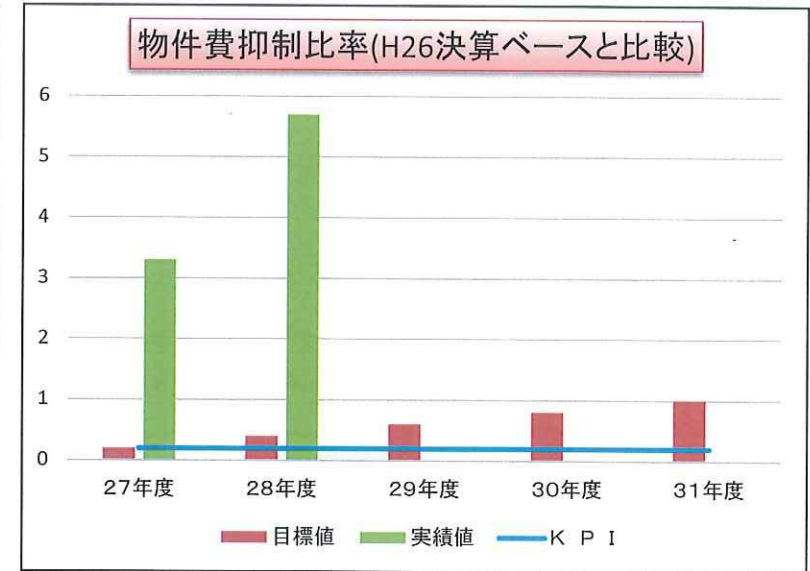
総合評価(有識者会議審査結果)項目
◎ 取り組み内容の深化・発展
○ 取り組み内容の継続
△ 取り組み内容の見直し
× 取り組みの中止・終了

南城ちゃーGANJU CITY創生戦略 重要業績評価指標(KPI)検証シート

平成 28 年度分	担当部課名	総務部	財政課
-----------	-------	-----	-----

基本目標	《基本目標Ⅳ》安全安心で快適なくらしが生ま出す地域の「誇り」を市民全員が分かちあう
基本的方向	前例踏襲や既成概念を取り払う「聖域なき見直し」へ《財政基盤の強化》
具体的施策	I_財政基盤の強化

達成状況	①目標事項:	物件費抑制					
	KPI:	物件費1%抑制(H26決算ベース)					
		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	基準値
	KPI	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	1
	目標値	0.2	0.4	0.6	0.8	1	
	実績値	3.3	5.7				
	目標に対する達成率	1650%	1425%	0.0%	0.0%	0.0%	
評価(内部評価)	◎	◎					
取組内容 (Plan)	経営感覚とコスト意識を持ち、市民サービスの提供にかかるコストや事業内容についての見直しを行い、経費削減やサービス向上に取り組み物件費の経常経費の抑制に努める。						
実績 (Do)	平成28年度決算において物件費経常一般財源額が平成26年度との比較で5.7%抑制された。						
分析 (Check)	空調設備のデマンド化や全庁体制で、日常的に光熱水費等経常経費の抑制に意識的に取り組んだ成果が表れ目標値を上回る抑制につながった。						
対応方向 (Action)	事業の取捨選択を実施し、市民が安心して安全に暮らすことができ、将来に明るい展望が持てるよう、限られた財源を緊急かつ重要な施策に重点的・効率的に配分することを基本とする予算編成基本方針に基づき、各課ヒアリング及び査定を経たうえで、適正な予算措置を行う。 また、職員個々のさらなる意識改革に努め健全な行財政運営を目指す。						



有識者会議による検証評価

意見	目標値以上の物件費抑制が図られていることは評価できる。次年度以降も引き続き取り組みを深めいていただきたい。
総合評価	◎ 取り組み内容の深化・発展

評価(内部評価)項目
◎ 目標値以上
○ 基準値と同等
△ 基準値未満
× 進捗なしor事業終了

総合評価(有識者会議審査結果)項目
◎ 取り組み内容の深化・発展
○ 取り組み内容の継続
△ 取り組み内容の見直し
× 取り組みの中止・終了